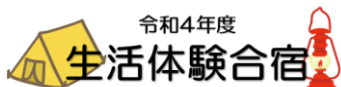


「初めてのクリ拾いを計画します」

古いクリの木が大工小屋の裏に2本あります。令和3年の記録では、2本の木から5回、約1000個のクリの実を拾いました。ところが、場所が狭くて今までクリを子どもに拾わせたことがありません。ちょうど2本のクリの木を隠すかのように薪をためておく小屋があります。この小屋を撤去すれば、幼児でもクリ拾いができるのですが、簡単には行きません。令和4年8月6日(土)、九州大学の社会教育主事講習受講生15名が社会教育実践演習のために生活体験学校にやってきました。加えて、筑豊教育事務所から主任社会教育主事以下4名が加勢にきてくれました。合計19名の成人の集団です。数を頼んで、薪小屋の屋根を持ち上げて、そのまま地面に倒して、トタンをはがし解体してもらいました。波トタンも鉄製のハサミで細断して、燃えるゴミ袋に収納して片付けてもらいました。その上、堆肥小屋の屋根掃除とシタケのホダ木の天地替え、新しいホダ木の移設まで3つの大仕事を一度に片付けてもらいました。今年は、初めて幼児を招いてクリ拾いを計画しようと考えています。重たい仕事は、毎年九州大学の社会教育主事講習生の皆さんを当てにして待っている生活体験学校です。



(ホームページ掲載日 令和4年8月20日)

令和4年度  
 **生活体験合宿**

令和2年度以来、2年ぶりの宿泊を伴う体験合宿を行いました。少人数で寝せるための工夫として、1張り3名定員でテント泊しました。久しぶりの体験合宿で、しかも熱中症対策として生活棟の中にテントを張り、寝る経験は参加した小学生からも好評でした。

また、これも2年ぶりでしたが、ステンレス風呂釜も久しぶりに沸かし、いい湯加減でした。

1日の体験活動とは違い、宿泊を伴うと、違う小学校にも関わらず、すぐに仲良くなり、みんなで協力しようという集団力が生まれていました。



令和4年度  
 **生活塾**

生活塾では、振り返りで「家に帰ってやること」を決め、1週間チャレンジし、その感想と保護者のコメントをはがきで事後報告してもらおう取り組みを行っています。そこで、今回は、生活塾で取り組んでいる事後報告はがきから、保護者のコメントを紹介します。



初参加の生活塾、きっかけは娘がお手紙を持ち、「ここに行きたい!」と強く言い出したことでした。参加後、よほど楽しかったのか、話は止まらず、更に先生と約束したからと食後自ら皿洗いをしてくれました。自分のやりたいことを自ら見つけ出してきた行動力と約束したことを一生懸命に守ろうとする姿に驚きました。  
 (立岩小学校保護者)

(家でやると決めたことがなかなかできていなかったので) 継続して行えるように保護者の声掛けも必要だったと思います。生活塾で体験した調理については興味を持って取り組むこともできています。とてもいい体験ができたと思います。  
 (飯塚東小学校保護者)



**施設利用**  


令和4年7月26日(火)  
 穎田子育て支援センター

令和4年7月26日(火)、穎田子育て支援センターがプレーパークで利用されました。菜園で夏野菜を収穫したり、ヤギやウサギにエサをあげたり、施設内を自由に散策していました。バッタを捕まえたり、ぶら下がっている玉ねぎを触ったり、広い生活棟のホールで走り回ったり、気の向くままに生活体験学校を満喫していました。



**【問い合わせ先】**

飯塚市庄内生活体験学校 (指定管理者：NPOどんぐり)

〒820-0111 福岡県飯塚市有安958-1

TEL：0948-82-3188 FAX：0948-82-2780

mail：taiken.sch@oks.or.jp

HPIはこちら▶

